

守山まるごと活性化 議事要旨

作成日:平成29年6月19日

作成者:足立

会議名: 第17回 ホタルプロジェクト会議

日時:平成29年6月17日(土)

場所:吉身会館2階中会議室

出席者:ホタルプロジェクト推進員

出席者(行政):吉身会館 竹村館長、足立

使用資料:別紙のとおり

議題

- ・ 河川調査、ホタル飛翔状況調査の結果について
- ・ ホタルパーク&ウォークでの看板設置について
- ・ 平成29年度事業にかかる検討
- ・ 吉身川に設置した遮光ネットの取り外しについて

会議要旨

内容

河川調査、ホタル飛翔状況調査の結果について

各地点の飛翔状況や河川環境について、各推進員が発表

(A地点) 例年通り多くの飛翔が見られた。数匹のみであるが、遮光ネットを越えて飛翔するホタルもいた。ただ、2月に幼虫を放流した東福寺周辺の飛翔が少なかったため、もう少し多ければよかった。

(B地点) 例年通りの飛翔状況。今年は三連橋(みつまんぼ)辺りで意外と多くのホタルが飛んでいた。チルホール跡地のホタルが、トンネルを抜けてこちらに来ているのか？

(C地点) 馬路石邊神社参道と併せてJR付近の河川も集計。今年はかなり多くの飛翔が見られた。その理由として、昨年まで4~5月頃に調査河川で子ども達が川遊びをしていた。しかし今年は川遊びをしていなかった。この事が原因だったのかな、と思う。

(D地点) 130匹ほど放流し、32~33匹/1日の飛翔を確認。今年は例年に比べ多く飛んでいた。カワニナの殻から身だけ取り、餌として水槽に入れていた。ふれあい公園でも飛翔は確認している。

(E地点) 5月26日以降、水温が20℃以上になった→ホタルの飛翔数が増えた。住宅の光が川に入っている場所にはホタルがいなかった。

(F地点) 例年通りの飛翔数で、増えてもいないし減ってもいないという結果。河川調査を5月8日と6月12日に行ったが、河川状況が大きく異なっていた。川の水を定期的に止めていることが影響しているのだろうか。また、カワニナを食べるヒルがいる、との情報もいただいた。

(委員) 鯉が河川に現れ、カワニナや幼虫を食べている、という意見があったが、わたしのところ(石田川)では鯉が幼虫を育てているエリアに入ってこれないよう、幼虫飼育のエリアの周りに網を張っている。そうすることで幼虫が鯉に襲われる心配もないし、鯉が所定の場所を泳いでいると子ども達が見学にも来ている。

(委員) LED外灯について。飛翔時期は黒い布を被せている箇所もあるが、近隣住民から了承をもらってから行わないと、トラブルのもとになるので注意してほしい。

(委員) ホタルの成虫の移動範囲はせいぜい50~60メートル。

ホタルパーク&ウォークでの看板設置について

プロジェクトリーダーより看板設置の報告と協力のお礼。

平成29年度事業にかかる検討

前回会議で出た「ホタルの大切さを楽しみながら伝える場の提供」と、「ホタル保護啓発看板を子ども達に描いてもらい、学区民のつどいで展示」という2つを軸に議論を行った。

(委員) 啓発看板については、ホタルの幼虫の放流を一緒に行った吉身保育園、立入が丘幼稚園に依頼してはどうか。→異議なし。

(委員) 看板の大きさは1園あたり模造紙1枚分くらいでどうか。そうなれば、展示用のパネルが2枚必要になるので、事務局のほうで準備をお願いしたい。

(委員) 看板作成を依頼するにあたって、テーマを伝える必要がある。たとえば「ホタルとの思い出」とか。

(委員) ホタルを見に行こう、関心を持とう、という部分と、ホタルを保護しよう、という部分とは矛盾しているように感じる。その為、ホタルとの触れ合いだけでなく、ホタル保護の部分も看板に描いてもらうことが重要なのではないか。

吉身川に設置した遮光ネットの取り外しについて

7月8日(土)午前8時～午前10時まで

集合場所:チルホール跡地

持ち物:ペンチ、のこぎりカマ、軍手

その他

(委員) 吉身まちづくり新聞で、ホタルの飛翔時期にあわせて飛翔調査や感染調査の結果を掲載してはどうか。そうすればより多くの人々がホタルに関心を持つと思う。

(委員) 次回会議ではホタル鑑賞会をした3自治会(吉身中町、吉身東町、立入)から実施結果を報告してほしいので、よろしくお願いします。

| | |
|-------------|--------------------------------|
| 決定事項 | 次回会議 7月28日(金)午後7時30分～ 吉身会館小会議室 |
| 次回以降について | |